

松本與一 律師。明治十二年四月石川縣全澤生れ。昭和十一年二月十七日没（七八の一九三七）。明治法律學校卒。大正三年辯護士開業、小作争議、社會運動の辯護に活躍。十二年難波大助大逆事件の官選辯護人となる。十五年日本労働黨創設に参加、昭和五年衆議院議員。全国大衆黨青年顧問。國家主義の意見書を提出して脱黨。九年勤勞日本黨を組織、總理就任。のち一月會世話人。

著書「思想犯罪篇」（昭和八年）二月二十日天人社「世界犯罪叢書」

おちひ。

